

# 幼児教育の充実と施設再編について

令和5年4月の（仮称）四日市市幼児教育センターの設置を機に、全市的な幼児教育の充実に向けた具体的取組を推進するとともに、2040年を見通した就学前教育・保育施設の再編について両面から検討を進めています。

## 1. 幼児教育・保育を取り巻く現状と課題

- ①国の試算では保育ニーズのピークが令和7年度に到来し、当面の間、横ばいで推移  
⇒ 当面は保育需要が増加するも、人口動態から、いずれは減少の見込み
- ②近年の共働き世帯の増加等に伴い、就学前教育・保育ニーズも急速に変化  
⇒ 待機児童の解消、育休退園や兄弟異施設入所の改善に対するニーズ など
- ③公立幼稚園の定員割れと小規模化の進行  
⇒ 公立園の教育認定児は10年間で約3割に
- ④施設の老朽化  
⇒ 高度成長期に整備した園が多く、全体の8割以上が築40年超
- ⑤幼児教育の質の向上と機会確保（H30）子ども・子育てに関するアンケート調査から  
⇒ 核家族化の進展に伴い、子育てと教育を社会全体で支えることが必要



・これらの課題に対応し、持続可能な子育て環境を構築していくためには、将来的に「保・幼・こ」を一本化し、就学前教育・保育の充実と共働き子育て世帯のニーズに対応できるこども園づくりの推進が必要

・そのうえで、少子化の流れを踏まえた需給見通し、地域バランスを考慮しつつ、園舎の耐用年数を踏まえた効果的で効率的な配置計画を定めて、計画的に再編を進めていくことが重要

## 2. 幼児教育・保育の目指す方向性・基本方針

幼児教育・保育に関する現状と課題を踏まえ、総合計画に掲げた将来都市像「子育て・教育安心都市」の実現に向けて、目指す方向性と基本方針を以下に示します。

### 目指す方向性

- ① 生涯にわたる「生きる力」「共に生きる力」の基礎を培う就学前教育・保育の質の確保
- ② すべての子どもが安心して快適に利用できる施設の整備
- ③ 市立施設の役割の明確化とその役割を果たすための体制の構築

### 基本方針

- ①公立の幼稚園・保育園については、2040年を見通した就学前教育・保育施設の配置計画を策定し、この計画に基づき、全園を認定こども園に移行
- ②併せて、幼児教育センターを基盤に、就学前教育・保育の質の向上に向けた取組やアウトリーチ型支援を実施

<再編のイメージ>



## 3. こども園において充実した幼児教育を受けられる仕組みづくり

グローバル化の進展とともに技術革新が急速に進み、社会が加速度的に変化していく超スマート社会（Society5.0）と称される時代を生きる子どもたちにとって必要な力を育めるよう、子どもたちを見守り、大切に育てていくことが重要です。

また、こども園では、教育認定（1号）の子ども、保育認定（2号）の子ども、質の高い就学前教育を平等に受けられる環境であることが大きな魅力となっています。

そのため、共通時間（9:00～14:30）の有効活用を図り、第4次学校教育ビジョンと連動した質の高い幼児教育、国の要領・指針に沿ったスタンダードな教育・保育の実践に取り組みます。

### ①幼児教育共通カリキュラムの作成 【資料1】

本市の就学前の子どもに対する幼児教育の質の向上を図るため、国が示す「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」を基本に、年齢ごとの成長を見通し、教育的観点から重要となる学びや体験を体系的に示した、四日市市幼児教育共通カリキュラムを作成します。

<主なポイント>

- 幼児教育共通カリキュラムは、本市の就学前教育・保育施設で働く保育者が、「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」を考慮して指導を行う際の指針・基本とします。
- 幼児教育共通カリキュラムに基づいた指導を行うことにより、
  - (1) 人生の学びの土台となる資質・能力を段階的に育みます。
  - (2) 3つの力（考える力・学ぶ力・生活する力）の育成を通じて、非認知能力を高めます。
  - (3) 幼児教育から学校教育への円滑な接続を図ります。

### ②幼児教育センターの設置 【資料2】

これからの幼児教育は、施設の種別を越えて、本市の幼児教育に携わる保育者が協力して教育の質の向上を図り、幼児期にあるすべての子どもたちに「生きる力」を育むことが重要となり、幼児教育の専門性の確保、持続可能な仕組みづくりを行う必要があります。

幼児教育センターでは、幼児教育共通カリキュラムに基づき実践的な研修を行うほか、各園のニーズに合わせて園訪問を行うアウトリーチ型の支援を行います。

### ③体験型教育活動の充実 【資料3】

平成29年3月の幼稚園教育要領、幼保連携型認定こども園教育・保育要領、保育所保育指針の同時改正により、「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」とそのねらい（健康、人間関係、環境、言葉、表現）が統一されたことから、幼児教育の要となる集団活動による“遊びを通じた学び”の実践がより充実したものとなるよう、体験型教育活動の充実を図ります。

### ④インクルーシブ教育の充実

特別な配慮を必要とする子どもへの適切な指導や支援の充実を図るため、こども園の一部を推進園に指定し、優先受入枠を一定数確保します。また、関係機関とも密接に連携して、実践的な経験と研究を積み重ねるとともに、そこで得られた課題や成果、指導・支援のあり方や方法を私立園に情報提供するなどインクルーシブ教育の充実を図ります。

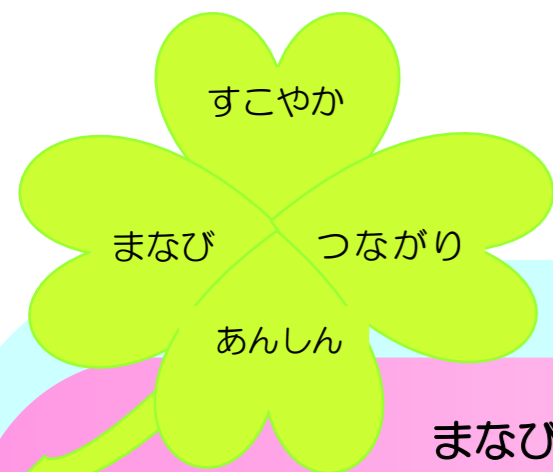
めざすこどもの姿 遊びから生きる力を学ぶ子ども 豊かな心と丈夫な身体を持つ子ども 豊かなかわりあいを持てる子ども

よっかいちの子どもたちが、夢と志を持ち、未来を創っていくための生きる力・ともに生きる力(人間力)の基礎を育みます

これからの時代をたくましく

### 遊び体験が子どもたちの未来をつくる

## 非認知能力の育成



### まなび

#### ためしてみよう

遊びの中で考えたり試したり工夫することで、学びの基礎となる思考力や創造力を育みます。



あれっ？みずがなくなった

「おもしろそう」「なんだろう」と興味をもち、思いを巡らせて遊ぶことで、好奇心や探究心、学ぶ意欲を育みます。



#### おもしろい・不思議・なぜだろう

もっと見たい

### すこやか

#### 自分でできたよ

毎日の生活の中で生活習慣を身に着けることが、自立心やあきらめない行動力を育みます。



きれいにたたむよ



あともう少しでいけそう

遊びの中で、繰り返し挑戦する体験が、粘り強く頑張る気持ちを育みます。

#### あきらめずにチャレンジ

### あんしん

### つながり

#### ことばで伝え合う喜び

自分の思いや考えを言葉でわかるように伝えたり、相手の話を聞こうとしたりすることが、道徳性や規範意識を育みます。



どう思う？

それいいね！

#### 友だちと協力してつくる

#### おもしろさ

友だちと一緒に目的に向かって考えたり協力をしたりしてやり遂げることが、協同性や忍耐力を育みます。



#### 地域・家庭との連携

地域・家庭とのつながりを一層深め、愛され信頼できる関係を大切に、子どもの健やかな成長を育みます。

#### 子育て支援

0歳から就学前までの親子を対象に、体験保育や相談を実施し、積極的に子育てを支援していきます。

#### 特別支援

一人ひとりのよさを伸ばし共に育ち合う仲間づくりをめざします。関係機関とつながり教育・保育をすすめます。

#### 人権

一人ひとりが、かけがえのない存在と実感し、様々な活動を通して互いの個性を尊重して人との豊かな関係を築き育みます。

#### 小中学校との連携

学びの一体化に向けて、小中学校と共に、子ども同士の交流や職員間の連携を図ります。

#### 四日市ならではの特色ある教育

地域に愛着と誇りを持ち、持続可能で暮らしやすい未来社会を担う自立した人間に成長できるよう、四日市の地域資源を生かした教育・保育を進めます。

# 0歳から6歳までの発達や学びが 小学校以降の生活や学習の基盤となります

※非認知能力・・・意欲、自信、忍耐、自立、自制、協調、共感などの数値では測定できない能力のことをいう。コミュニケーション能力や粘り強くやり抜く力、自分自身を調整する力などが含まれる。



# 子どもたちに環境を通して育みたい力

年齢 0歳 1歳～2歳 2～3歳 3～4歳 4歳～5歳 5歳～6歳

幼児期の終わりまでに育ってほしい10の姿

(5領域)

すこやか

好きな動物になってトンネルをくぐります。「もう1回」と繰り返して楽しみます。



**自立心**  
\*保育者の見守りの中で、自分でやってみようとする気持ちが育まれます。

**健康な心と体**

\*またく、くぐる、よじ登る、跳ぶなど様々な動きを楽しみ、進んで体を動かそうとする力や、体の使い方の調整力を育みます。

保育者や友だちと一緒に、歌に合わせて動いたり、「まてまてー」と追いかけて遊んだりするのを楽しみます。



**豊かな感性と表現**  
\*保育者に温かく受け止められ、楽しく遊ぶ中で自分の思いを表現する意欲を育みます。

**健康な心と体**

\*リズムに合わせて体を動かすことを心地よいと感じ、健やかな心と体を育みます。

**道徳性・規範意識の芽生え**  
\*走る順番や人数を考え、話し合っ決めて決めます。  
\*ルールを守る必要性が分かり、友だちと折り合いをつける力を育みます。

**自立心**

\*あきらめずに最後までやり遂げようとする気持ちを育み満足感を味わいます。

勝ったり負けたりして葛藤体験を味わいチームに分かれてリレーごっこを楽しみます。



**協同性**

\*互いの思いや考えを共有します。  
\*同じ目的に向かって実現しようとする力を育みます。

**健康な心と体**

\*思い切り体を動かす心地よさを感じ、場面に応じて体を調整する力を育みます。

つながり

保育者に目を見つめてもらいながら、「おいしいね」「だいすきだよ」と温かい雰囲気の中で言葉をかけてもらいます。



**身近なものに関わり感性が育つ(豊かな感性と表現)**  
\*自分の要求に答えてもらう経験の積み重ねが特定の大人との信頼関係(愛着関係)の基盤となります。

**身近な人と気持ちが通じ合う(自立心)**

\*身近な大人との応答的な関わりや、一人ひとりのリズムに応じた心地よい経験が、情緒の安定や自己肯定感につながります。

**健やかに伸び伸びと育つ(健康な心と体)**

\*身近な人と気持ちが通じ合い、心地よさを感じます。

「おながすいたね」「ごはんができたよ」「いただきます」と生活での経験を再現して遊びます。



**思考力の芽生え**

\*周りの事象に積極的に関わり、物の性質に気付いたり、思いを巡らし予想して考えたり、判断したりする力を身に付けます。

**社会生活との関わり**

\*経験したことを真似たり、話したりすることで身近な人に親しみをもって関わることを楽しいと感じます。

**言葉による伝え合い**

\*言葉のやり取りで生活に必要な言葉を知り、語彙数が増えます。

「お花が咲いている」「あつ！てんとうむし見つけたよ」と自然に触れてワクワクする感動体験を重ねます。



**自然との関わり・生命尊重**

\*地域の中で自然に触れ合い、好奇心や探究心をもって考えたことを子どもなりに表現し、身近な事象への関心が高まります。

消防車見学です。「ホースがとっても長いだね」「いろいろなものが消防車にのってるね」と、興味をもって消防士さんの話を聞いたり質問をしたりします。



**社会生活との関わり**  
\*興味をもって見たり聞いたりし、憧れの気持ちを抱いたり社会とのつながりを意識する気持ちを育みます。

**道徳性・規範意識の芽生え**

\*約束事を守る必要性がわかり、友だちと一緒に心地よく生活を営む気持ちが育まれます。

まなび

「ねえ、見て」と自分の発見を指さしや喃語で知らせます。「ほんとだね」「よく見つけたね」と大人とのやり取りを楽しみます。



**言葉による伝え合い**

\*指さしや喃語で思いを伝えようとする子どもの気持ちを保育者が温かく受け止めることで、子どもはさらに思いを伝えようとしていきます。

**豊かな感性と表現**

\*絵や言葉からイメージを膨らませている子どもたちに保育者は応答し、感性や表現する意欲を育みます。

「丸い形ができていよ」「いろいろな形が見えるね」と自分たちで作った影絵を見て楽しみます。



**自然との関わり・生命尊重**

\*身近な自然に触れて生活し、変化や不思議さなどに気づき好奇心や探究心が育ちます。

**思考力の芽生え**

\*物の性質や仕組みに気付き、予想する力、工夫する力を育みます。

**豊かな感性と表現**

\*繰り返し遊ぶことを楽しみ、イメージする力や考える力が育まれます。

**数量や図形、標識や文字などへの関心・感覚**  
\*身近な環境から物の形に興味を持ち、図形に対する感覚を育みます。

**協同性**

\*遊びの中で工夫をしたり協力をしたりする過程で、充実感をもってやり遂げようとする力を育みます。

「みんな、水を流すよ」「うまくいったね」と桶で傾斜をつけて水を流すことを楽しみます。



**数量や図形、標識や文字などへの関心・感覚**

\*様々な道具を使い遊ぶ中で、大小・高低・深さの違いに気付き、数や図形への感覚の芽を養います。

**思考力の芽生え**

\*物の性質を知り、工夫したり試行錯誤して遊んだりする中で、新しい考えを生み出すことや、問題を解決していかうとする力を育みます。

**自然との関わり・生命尊重**

\*砂や水に触れて、五感を刺激し心地よさを感じます。  
\*遊びの中で疑問が生まれ考えを出し合いながら予想したり確かめたりして、考えを深めていく力が育まれます。

**健康な心と体**

(領域) 健康

**自立心**

(領域) 人間関係

**豊かな感性と表現**

(領域) 表現

**言葉による伝え合い**

(領域) 言葉

**道徳性・規範意識の芽生え**

(領域) 人間関係

**協同性**

(領域) 人間関係

**社会生活との関わり**

(領域) 人間関係

**思考力の芽生え**

(領域) 環境

**数量や図形、標識や文字等への関心・感覚**

(領域) 環境

**自然との関わり・生命尊重**

(領域) 環境

小

学

校

＜資料2＞ 幼児教育センターの役割と機能

これからの幼児教育は、施設の種別を越えて、本市の幼児教育に携わる保育者が協力して教育の質の向上を図り、幼児期にあるすべての子どもたちに「生きる力」を育むことが重要となり、幼児教育の専門性の確保、持続可能な仕組みづくりを行う必要があります。

幼児教育センターでは、幼児教育共通カリキュラムに基づき、実践的な研修を行うほか、各園のニーズに合わせて園訪問を行うアウトリーチ型の支援を行います。

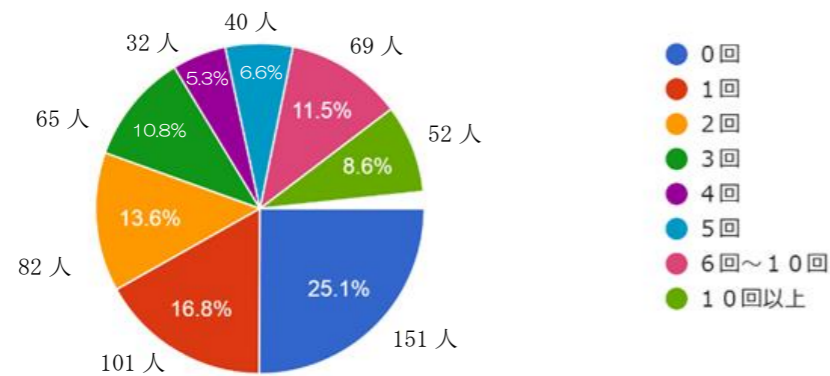
1. 保育者アンケート

幼児教育センターについては、WEBアンケートにより保育者のニーズ調査を行い、寄せられた意見を参考にして、こども未来部・教育委員会の合同ワーキングチームで検討を進めています。

○アンケート調査の中間結果と傾向

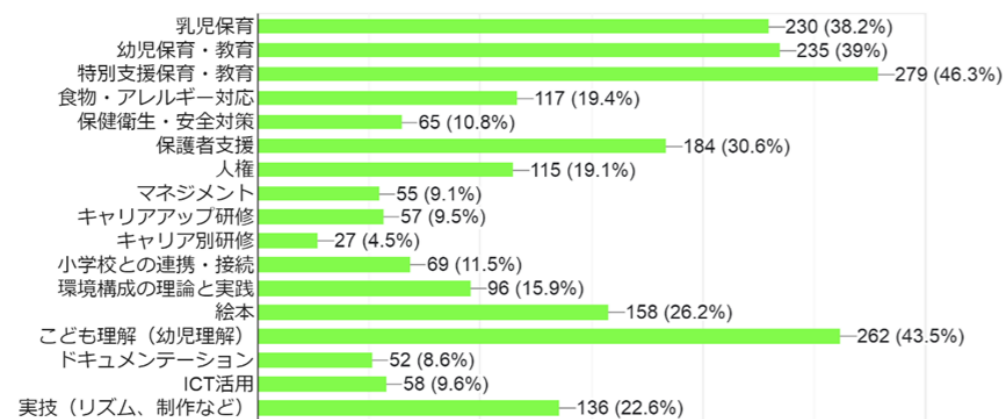
・回答数 602名（公立445人、私立157人） ※7/20日時点

①昨年度、1年間で受講した研修の回数をお答えください

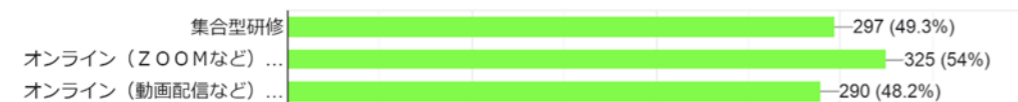


※経験年数10年目までの若手職員ほど、研修受講回数が少ない傾向にある

②あなたが、今後受講を希望する研修を教えてください。(あてはまるものすべて)



③あなたが、今後受講を希望する研修の形態を教えてください。



2. 幼児教育センターの概要

### 研修

- 施設やICTを活用して、現場のニーズや最新の情報を取り入れた、参加しやすい研修を企画します。
- 講義形式の研修だけでなく、ワークショップや実技のスキルアップにつながる実践的な研修を行います。
- 幼稚園・保育園・こども園の区分や設置主体(公立/私立)の違いに関わらず、本市の施設で働く幼児教育・保育関係者を対象として研修を実施します。

＜例＞  
実際の保育の様子を捉え、子どもの良さをさらに伸ばせるような実践型研修を実施

不思議さ  
探求心  
主体的

### 訪問・相談支援

- 幼児教育アドバイザーが、各園を訪問し、園内研修や人材育成、相談等に応じるなど、待ちの姿勢に留まらない、アウトリーチ型の支援を行います。
- 支援の内容は、保育場面における環境づくりや指導方法、小学校との連携推進、幼児教育カリキュラムづくりなど、現場に寄り添った助言・相談を行います。
- 経験豊富なアドバイザーを複数配置します。

＜園内研修の例＞  
撮影動画や付箋・ホワイトボードなどを使って、教育・保育の内容を見える化して助言

※職員自身の気づきを大切にする

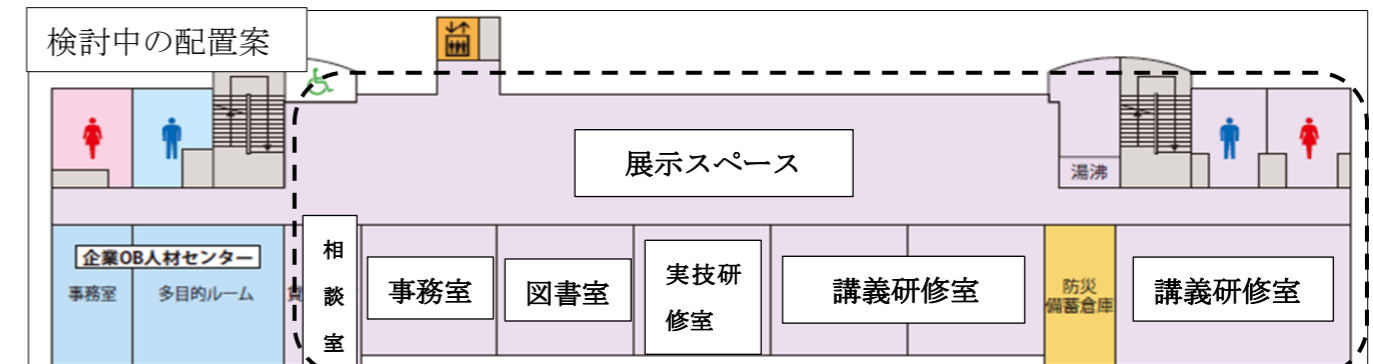
### 情報発信・研究

- ドキュメンテーション等の手法により、教育・保育内容の見える化を図り、好事例や四日市の幼児教育の良さを収集し、発信していきます。
- 各園では揃えにくい幼児教育の専門書や映像による研修教材を配備し、保育者の研究ニーズに応えます。
- ICTを活用した幼児教育・保育の質の向上、現場の働き方改革や負担軽減策を研究します。

＜ドキュメンテーション＞  
子どもの普段の活動から成長の姿を教育的視点で捉え、保護者に伝える

3. 施設配置の検討

保育者アンケートにて、要望が多く寄せられた図書室・インターネット環境が整った研修室、実技が学べる研修室の整備を検討中



<資料3> 体験型教育活動の充実

子ども・子育て支援新制度においては、子ども・子育てへの社会全体の支援が必要であり、保育の量のみならず質的な充実が明記されています。

現在、国の政策として、保育の「量」から「質」へと議論が移りだしており、国の検討会においても「保育の質は、子どもが得られる経験の豊かさと、それを支える保育の実践や人的・物的な環境など、多層的で多彩な要素により成り立つ」と述べられています。

本市の子どもたちが、幼児期に様々な体験を通して、子どもたちが遊びの中でより多くの生きる力を育むことができるよう、四日市の地域資源を生かした活動の充実を図ります。

<教育活動の主な内容>

- 環境教育 (SDGs)、防災教育、防犯教育、人権教育、食育、英語、運動、音楽、芸術、絵本読み聞かせ、地域人材との交流、自然体験 など

〇本市の幼稚園・こども園における教育活動の実践例

〇サッカー教室 (県サッカー協会)



ボール遊びを通じてコーチがサッカーの魅力を伝える様子。体の動かし方を楽しく学ぶことができる

〇ピアノとフルートのコンサート



プロ級の音楽を生で聴くこと、本物に出会うという体験を通じて、子どもたちの心が豊かに育まれる

〇絵本を用いた人権学習



子どもには「安心」が最も重要で人権意識の根幹となることを、読み聞かせを通じて親子で学ぶ様子

〇環境教育 (SDGs)



リサイクルを学ぶ子ども。自分で何が出来るか考え、行動につなげる体験型学習で未来の担い手を育む

〇YEF との英語活動



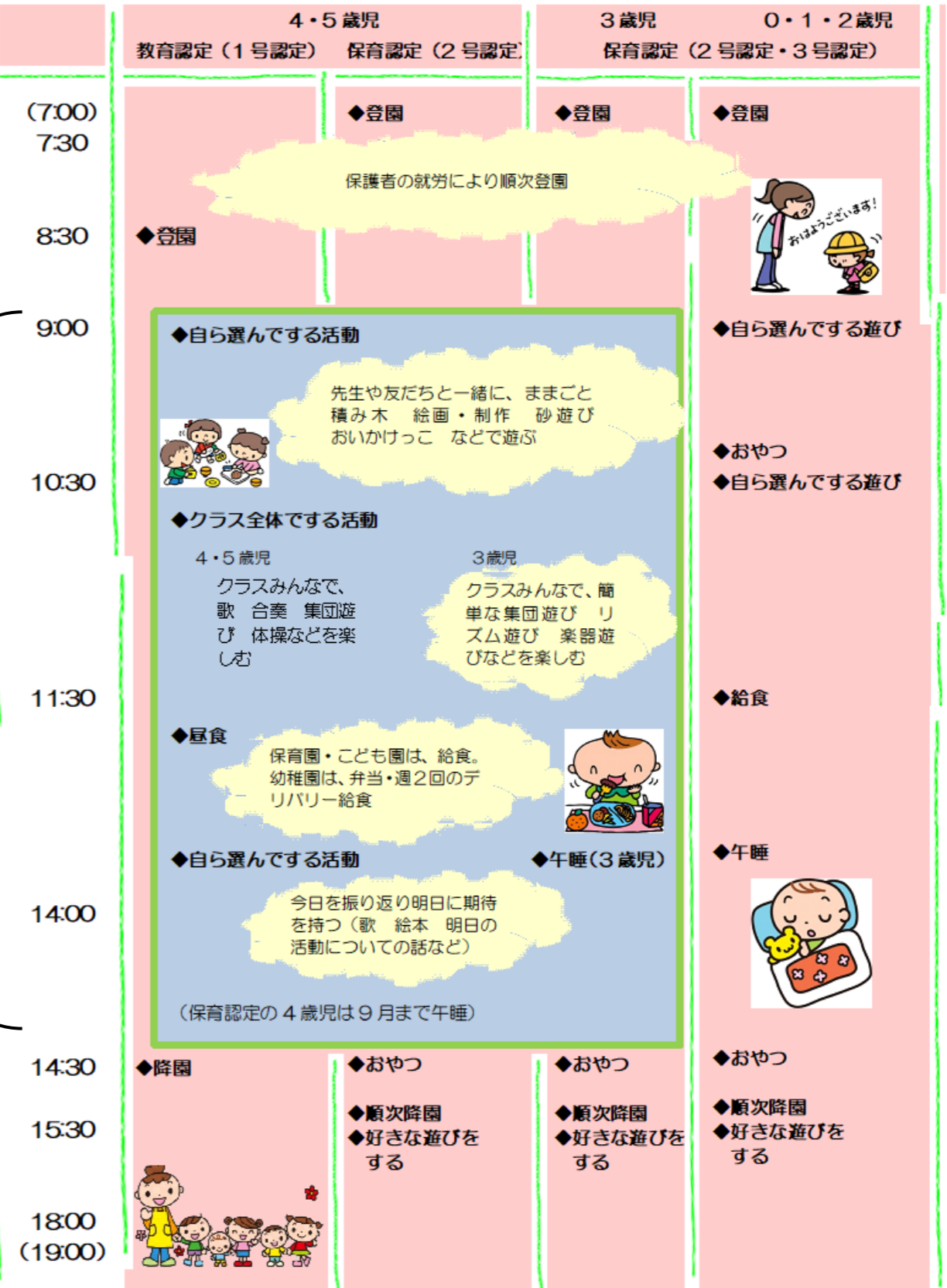
五感を通して外国語に触れ、国際理解の芽生えを育む、四日市市だからできる貴重な取り組み

〇書き初め体験



息をのむように静かに見入る子ども。感性が磨かれ、なりた自分の発見やキャリア教育につながる

保育園・幼稚園・認定こども園の一日の流れ



共通時間の有効活用